

市民活動・ボランティア ニュース



2008年 12月号
平成20年11月25日発行
通巻120号

MIE NON-PROFIT ORGANIZATION & VOLUNTEER NEWS

◆発行◆
514-0009
津市羽所町700番地
アスト津3階
みえ市民活動ボランティアセンター
Tel.059-222-5981
Fax.059-222-5971
E-mail seiknpo@pref.mie.jp
男女共同参画・NPO室の
ホームページ
<http://www1.mienpo.net/npot>
三重県のホームページ
<http://www.pref.mie.jp>

市民活動・ボランティアニュースは
こちらにあります!

【地域の市民活動センター等】

●津市●みえ市民活動ボランティア
センター／津市市民活動センター／
分部食堂／(有)デザインオフィス萩
野 ●桑名市●桑名市市民活動支
援センター ●四日市市●四日市
市市民活動センター／寺子屋プロ
ジェクト／みえチャレンジプラザ
●亀山市●亀山市市民協働セン
ター ●鈴鹿市●市民ネットワ
ークすずかのぶどう ●松阪市●三重中
京大学／松阪市市民活動センター
●伊勢市●特定非営利活動法人
伊勢志摩NPOネットワークの会／い
せ市民活動センター ●鳥羽市●
鳥羽NPOネットワークセンター・結
●名張市●名張市立図書館／名
張青年会議所／皇学館大学名張
キャンパス／名張市総合福祉セン
ター／エコリゾート赤目の森／名張
市市民活動支援センター／くらしの
情報センター同夢 ●伊賀市●ウ
ィリアム・テルズ アップル まちづくり
センター／伊賀市中央公民館／伊
賀市立図書館／上野青年会議所／
伊賀市市民活動支援センター ●
明和町●めいわ市民活動サポートセ
ンター ●南伊勢町●南伊勢町町
民文化会館 ●紀宝町●紀宝町ボ
ランティア市民活動センター

【地域の社会福祉協議会】県内の市
町村社会福祉協議会

【金融機関・企業等】百五銀行各店
／三重銀行各店／東海労働金庫各
店／第三銀行各店／メディカル光
各調剤薬局

【行政機関等】三重県庁県民ホール
／三重県地域機関(各県民セン
ター)(桑名、四日市、鈴鹿、津、久居、
松阪、南勢志摩、伊賀、尾鷲・熊野)／
三重県桑町庁舎(情報公開窓口)／
三重県総合医療センター／三重県立
一志病院／三重県立志摩病院／三
重県立こころの医療センター／斎宮
歴史博物館／三重県立博物館／三
重県立図書館／三重県生涯学習セ
ンター／三重県男女共同参画セン
ター『フレンテみえ』／三重県人権
センター／三重県身体障害者総合福
祉センター／三重県環境学習情報セ
ンター／各市町役場

NPO法施行10周年・みえパートナーシップ宣言10周年事業 NPOの、これから

平成20年12月で特定非営利活動促進法(NPO
法)が施行されてから10年になります。また、三重県
では、公開の場で市民とともに宣言した「みえパート
ナーシップ宣言」から10年になります。

いまや「NPO」は日常的にテレビや新聞に登場し、
「NPO」という言葉も社会に定着した観があります。
しかし、本当に「NPO」は公共や公益を担う存在とし
て社会に認知され、また、その期待に応えられる力を
培ってきたのでしょうか。

10年という節目にあたり、これまでの10年をふり
かえり、今後の10年を考えます。

●とき／12月13日(土)13:00～

●ところ／みえ県民交流センター

(津市羽所町700番地 アスト津3階)

●スケジュール／

13:00～13:30

オープニング「三重県のこれまで」

13:30～14:30

基調講演 山岡義典さん

(特定非営利活動法人日本NPOセンター代表理事)

14:40～16:20

テーマ別分科会

【第1分科会】

先駆者と語ろう～10年継続するNPO法人の極意～
NPO法人設立・運営の悩みや課題

【第2分科会】

進化するパートナーシップ
～新たな協働のあり方をめざして～

【第3分科会】

NPOセクターをたくましくする中間支援

16:30～17:00

クロージング「NPOのこれから」

●申込締切／12月8日(月)

●申込方法／名前、住所、電話番号、参加希望の分科会(第1希望、第2希望)を下記までご連絡ください。

●申込・問い合わせ先／514-0009 津市羽所町700番地 アスト津3階

三重県生活・文化部長男女共同参画・NPO室NPOグループ

Tel.059-222-5981 Fax.059-222-5971

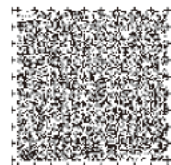
E-mail seiknpo@pref.mie.jp

●主催／NPO法施行10周年・みえパートナーシップ宣言10周年事業実行委員会



SPコード

右にある図形は「SPコード」と呼ばれる二次元コードです。視覚に障害を持つ方が「スピーチオ」と呼ばれる専用の読取機を使用することで、ここに記録されている情報を音声で聞くことができます。



情報をお寄せください。市民がつくる市民活動の情報です。
ホームページ版、朗読テープ版もあります。お気軽にお問い合わせください。



先日、みえボランティアフェスティバル2008が無事終了いたしました!ご来場くださいました皆さま、誠にありがとうございました。当日は、朝方の大雨も、開会時にはあがり、昼ごろにはうっすら日差しもさす天気となり、多くの方々にお越しいただくことができました。

前回までお話ししてきましたとおり、分科会や、模擬店、体験コーナーなどで学生の皆さんが朝早くの準備から夕方遅くの片付けまで大活躍してくれました。来場者の皆さんもその姿を見かけられたことと思います。実際に「若い人たちが多くて活気があるね」という感想もいただきました。

このフェスティバルは、ベテランボランティアの皆さんに、若者は若者なりに取り組んでいる姿を間近に感じていただくいい機会だったのではないかと思います。そして、学生の皆さんには先輩方のあたたかい眼差しを感じる機会だったのではないのでしょうか。

こうした学生さん達との取り組みはまだまだ続きます。次回はその紹介をしていきます。

萩野) Tel.059-225-1837 Fax.059-221-3588

みなさんへのお知らせ

特定非営利活動法人認証申請団体と成立団体のお知らせ

●認証申請団体

今回、申請団体はありませんでした。

●成立した特定非営利活動法人(登記年月日)

女性と子どものヘルプライン・MIE(平成20年8月7日) / みのり福祉会(平成20年10月1日) / トータルサポートスクラム(平成20年10月6日) / NPOシルバースプーン(平成20年10月9日) / 子育てサポートほっとまむ(平成20年10月15日) / 大正浪漫一座(平成20年10月20日)

(平成20年10月10日~平成20年11月9日届出分)

※関係書類は、三重県生活・文化部男女共同参画・NPO室に備え置いてあります。

イベントスケジュール

2008年度国際交流団体セミナー

「ニーズに応える事業」ってどうやって組み立てるの?

●とき/12月6日(土) 10:00~16:00

●ところ/みえ県民交流センターミーティングルーム(アスト津3階) ●参加費/1500円(MIEF賛助会員無料)

●内容/外国人を対象にした「お客さんが集まるサービス」と「利用者が来ない事業」には、どのような違いがあるのでしょうか。地域のニーズに、どのように応えていくことができるのか、講義とワークショップを通じて考えましょう。講師はダイバーシティ研究所代表の田村太郎さんです。

●募集人数/40人 ●応募締切/12月3日(水)

●主催・問い合わせ先/(財)三重県国際交流財団

Tel.059-223-5006 E-mail mief@mief.or.jp

.....



津地区ボランティア連絡会講演会

「忘れない...人とのつながりで生きてこれたことを.....」

●とき/12月6日(土) 10:00~12:30

●ところ/津センターパレス3階

津市社会福祉協議会介護実習室

●参加費/無料、事前申込不要。要約筆記あり。

●内容/津地区ボランティア連絡会役員の齊藤末良さんは、19歳の時ガスの爆発事故で全身にやけどを負いました。顔中腫れ上がり、口もきけない状態。痛みと失意のどん底で苦しみ自殺まで考えた彼は、家族や友人たちの言葉で、『どん底』からはい上がる決意をしたと言います。それから5年。やけどのため変わってしまった相貌と戦う日々が続いています。しかし彼は、我々には想像も出来ない、苦しみやつらさを乗り越え、仕事を探し、ボランティアを始めました。『苦しい』私たちは、その言葉の本当の深さを知る事はできません。重い話かもしれませんが、きっと彼の勇気の『お裾分け』が得られると思います。この講演会は講演だけでなく、意見交流を大事にします。一般参加も大歓迎です。

●主催・問い合わせ先/津地区ボランティア連絡会(担当:

若者の就労を考える保護者向けセミナー

~明るく楽しく元気に「家族にできること」を一緒に考えましょう~

●とき/12月6日(土) 13:30~16:30

●ところ/伊賀市勤労者福祉会館 大会議室

(伊賀鉄道上野市駅より北東へ徒歩7分)

●内容/若者の自立に向けて、保護者ができる支援について考えるとともに、同じ課題を持つ家族どうしの交流を図りましょう。講師は社会学博士の太田 仁さんです。

●応募締切/12月2日(火)

●申込方法/電話、Fax、E-mailなどで参加者氏名、住所、連絡先を下記まで。

●問い合わせ先/三重県若者自立支援センター

Tel.059-246-1212 Fax.059-222-3301

E-mail wakamono@pref.mie.jp

●主催/三重県、みえ若者就労支援ネットワーク、NPO寺子屋プロジェクト

.....

ポルトガル語・スペイン語通訳付 こころの相談

●とき/12月7日(日) 13:00~16:00 ●参加費/無料

●ところ/アスト津3階 みえ県民交流センター

●内容/人には話せないことなど、本人はもちろん、家族についての相談も臨床心理士などの専門家に相談できます。秘密は守ります。

●応募開始/11月17日(月) 各言語先着3人

●問い合わせ先/(財)三重県国際交流財団

Tel.059-223-5006

.....

つ〇環境フェア

●とき/12月7日(日) 10:00~15:00

●ところ/津競艇場

●内容/楽しく環境について考えるイベントです。屋内では市民団体や企業などの環境保全活動や取組などの展示・体験コーナー、環境学習コーナーなど楽しく環境を学べるコーナーのほか、フリーマーケットや不用になった大型家具を抽選で差し上げる不用品コーナー、スタンプラリー抽選会、アコースティックライブも行います。駐車場ではごみ収集車の乗車体験や収集車へのお絵かき、ゲームコーナー、低公害車の展示を開催。御殿場海岸でお宝探しごみ拾いを行うなど楽しい企画がもりだくさんです。また、環境に配慮したイベントに取り組んでいくため、来場者にマイバッグやマイ箸等のご持参をお願いします。

●問い合わせ先/津市環境政策課 Tel.059-229-3139 Fax.059-229-3354

E-mail.229-3139@city.tsu.lg.jp

ホームページ.http://www.info.city.tsu.mie.jp/

●主催/環境フェア実行委員会、津市

.....



ゆる体操講演会

●とき／12月10日(水) 18:30～20:45

●ところ／御浜町中央公民館大ホール

(JR阿田和駅から徒歩約3分)

●参加費／無料(申込不要) ●募集人数／300人

●内容／びっくりするほど健康になり、若返るゆる体操。第一部はテレビでも人気の体操講師、Nidoさんによる歌ゆる指導。第二部はゆる体操開発者である高岡英夫さんの講演「ゆる体操はなぜこんなに効くのか」を開催。軽い運動のできる軽装でお出かけを。

●主催・問い合わせ先／三重県ゆる協会(担当:山口)

Tel.090-7042-0301 Fax.0597-89-6107

E-mail yamagt11@pref.mie.jp(件名に必ず「ゆる体操」と記入)

伝えるコツを身につけよう

～NPOのための広報スキルアップセミナー～

●とき／12月14日(日) 10:00～17:30

●ところ／みえ県民交流センター イベント情報コーナー(アスト津3階)

●参加費／2000円 ●募集人数／50人

※(特)津市NPOサポートセンター会員(個人)および(特)日本NPOセンター正会員は1000円

●内容／NPO広報力向上委員会では、「うまく伝える」ということがきっかけになって、日本のさまざまなNPOの活動が、もっと広がったり、盛り上がったりすることを願って、広報力やコミュニケーション力をアップさせるためのヒントをまとめた冊子「伝えるコツ」を作成しました。このセミナーでは、その冊子を使い、NPOの広報の支援に関わるスタッフの支援する力の向上を期待した、広報力アップのトレーニングを実施します。NPOの広報力の向上のためには、そのNPOに関わるみんなが意識を共有し、議論することも必要です。このセミナーでは、その場だけではなく、持って帰ってできるトレーニングを意識しています。

●問い合わせ先／津市NPOサポートセンター

Tel.059-213-7200 Fax.059-213-7201

E-mail tsusimin@zvtv.ne.jp ホームページ

http://www.zvtv.ne.jp/tsusimin/index.htm

●主催／NPO広報力向上委員会

アフガニスタンをこれ以上見捨てないで!

●とき／12月14日(日) 14:00～16:30

●ところ／アスト津ビル4F研修室A(津駅隣接ビル)

●参加費／1000円

●内容／アフガニスタンの女性たちの自由・自立を目指す団体RAWAに連帯している会の難民キャンプなどへの2008スタディツアーの報告と、ジャーナリスト白川徹さんによるアフガニスタン最新情報の講演などを行います。

●問い合わせ先／宮西いづみ Tel.090-1239-1410

E-mail teresa@za.zvtv.ne.jp

●主催／「RAWAと連帯する会・みえ」

世界のリズム&レストラン

●とき／12月14日(日) 13:00～16:00

●ところ／ポルタひさい3階(近鉄久居駅隣接)

●参加費／会員500円、非会員1000円

※小学生以下半額

●内容／日本の太鼓、中国の太鼓、アラブの太鼓など、たくさんの世界のリズムを体験しましょう。日本、中国、韓国、ミャンマー、タイ、インド、タンザニア、イタリア、メキシコなどのお料理が楽しめるワールドレストランも開催。

●申込方法／E-mail、ハガキ、Faxなどで下記まで。

●主催・問い合わせ先／514-1135 津市久居本町1346-7 ひさい国際交流協会 Tel.059-256-5191

Fax.059-256-5122

E-mail kazenomachi-hisai@dune.ocn.ne.jp

第2回 コミュニティビジネスセミナー

●とき／12月17日(水) 19:30～21:30

●ところ／ゆめぼりすセンター ●参加費／無料

●内容／伊賀市では誰もが安心して暮らせるまちにするために、その取組の方向性を示した「伊賀市地域福祉計画」を策定し、計画の推進を図っています。そのなかで、地域の課題を地域住民が主体となって、地域の資源を生かしてビジネスの手法を取り入れて解決する事業活動を展開することにより、市民の社会福祉活動を地域再生の柱のひとつに導くことをめざし、セミナーを開催しています。今回はビジネス手法を取り入れた事業を展開している活動事例を紹介し、ポイントを整理します。

●募集人数／100人

●申込・問い合わせ先／伊賀市健康福祉部高齢障害課

(担当:田中・津田) Tel.0595-22-9657

伊賀市社会福祉協議会(担当:乾・吉田)

Tel.0595-21-5866



【四日市まんなか子ども劇場】

サンタがやってくる!クリスマス会

●とき／12月18日(木) 11:30～15:00

●ところ／中部地区市民センター

●参加費／1100円(ランチ込み)

●内容／歌って遊んでケーキのトッピング!100円程度のプレゼントを持参してください。



三重県内で活動している、学生など若者たちのボランティア・市民活動団体をご紹介します。

三重県高等学校文化連盟ボランティア部会

参加学校は、川越高校、メリノール女子学院高校、四日市南高校、四日市商業高校、四日市四郷高校、鈴鹿高校、飯野高校、白子高校、石薬師高校、亀山高校、高田高校、久居高校、津商業高校の13高校です。

各学校でそれぞれの地域において独自の活動をしています。例えば、地域の福祉施設や幼稚園などを訪問したり、募金活動や献血を呼びかけたりと様々です。その中で人と触れ合うことの楽しさや喜びを感じ、いろいろなことを学んでいます。その他に、ボランティア部会として「障がいを持った子どもたちとの一日旅体験」、「みえ高文祭での支援バザー」、「ボランティア冬の合宿」、「ボランティア体験発表会」という4つの行事を行っています。ボランティア自体は、各校で独自にできるものですが、これらの行事を通して他校の活動を知ったり、自分たちの活動を振り返ったり、いろんな人と交流できる機会として大切にしています。来年度は全国高等学校総合文化祭が三重県で行われるので、一致団結してがんばっています。

問い合わせ先	中村チエミ(亀山高校) nakamura.chi@mxs.mie-c.ed.jp
メンバー数	約100人

月に一度の絵本のひろばとヘルシーランチ

- とき／平成21年1月13日(火)、2月3日(火)、3月5日(木)
- ところ／四日市まんなか子ども劇場
- 参加費／ランチ900円、利用料300円
- 内容／読み聞かせグループ「すのうほわいと」による絵本のひろばと「野恵都」のランチが子連れで食べられます。

こどもまつり

- とき／平成21年1月25日(日) 13:30
- ところ／中部西小学校体育館
- 参加費／親子二人1000円(一人追加500円)
- 内容／こま博物館の館長「こまのおっちゃん」のすごい技のほか、楽しい参加コーナーがたくさんあります。
- 申込・問い合わせ先／四日市市西町15-16 四日市まんなか子ども劇場 Tel.&Fax.059-351-6670

広河隆一写真展「ナクバ60年 パレスチナのいま」

- とき／12月20日(土)～25日(木)10:30～18:00(最終日は16:00まで)
- ところ／津市まん中交流館 展示室(津センターパレス地下)
- 参加費／入場無料
- 内容／街中はクリスマスモード一色ですが、イエスが生まれ、生きたパレスチナは今悲しみが渦巻いています。その問いに向き合う写真展です。21日(日)と23日(祝)14:00から主催団体理事長、林恒弘さんによる特別講演「広河写真からパレスチナ問題の根源を考える」も行います。
- 主催・問い合わせ先／(特活)広河隆一非核・平和写真展開催を支援する会 Tel.&Fax.059-229-3078 E-mail syashinten@za.ztv.ne.jp

クリスマス・お菓子作り教室

- とき／12月23日(火・祝) 13:30～16:00
- ところ／三重県総合文化センターフレテみえ 1階「生活工房」(津駅西口から徒歩25分、バス5分 Tel.059-233-1111)
- 参加費／材料費の実費
- 内容／シュトレン(ドイツのクリスマスケーキ)とバイナハツ・プレッツヒェン(クリスマスのクッキー)を作ります。講師は、ドイツ在住6年の千島里美さんです。
- 応募締切／12月19日(金)
- 問い合わせ先／向井明子 Tel.059-232-0594 E-mail am.deutsch1685@gmail.com
- 主催／三重日独協会

ネットワークのよびかけ

- 中間支援組織担当者ネットワーク交流会
～顔の見えるつながりを作りませんか?～
中間支援、NPO支援に関わる人が集まり、共通の悩みや疑問を出し合って、意見交換する場です。隔月で協働をテーマに勉強会も開催。いずれも無料、会場はみえ県民交流センター交流スペースです。
- 【協働勉強会】●とき／12月10日(水) 13:30～16:30
- 【交流会】●とき／平成21年1月14日(水) 15:00～17:30
- 問い合わせ先／W.T.Aまちづくりセンター Tel.0595-24-7612

津市難聴・中途失聴者の会 会員募集

聴覚障がい者の情報保障や、社会参加などを目的に会を設

立しました。「笑って楽しく生きていく」をモットーに月2回、例会を開催。筆談によるOHPやノートテイクを利用し、暮らしに役立つ実技などにも力を入れています。現在会員9名と少数ですが、家庭的な雰囲気楽しいひと時を過ごしています。気軽な気持ちで一度見学に来てください。

- とき／第2・4火曜 13:00～15:00
- ところ／津市センターパレス3階 会議室
- 会費／年間3000円
- 問い合わせ先／Tel.&Fax.059-227-2913

自立生活体験室の介助者・ボランティア募集!!

- 自立生活体験室は、「障害」がある人たちが、地域の中で“当たり前”に暮らすための体験を一時的に実現できる空間です。今まで親元や施設などで、いつも守られている生活ばかりのために、自らの可能性を試したことがない人たちがとても多いのです。そこで、この体験室を使って、自分のできることに、苦手なことや出来ないことを知り、出来ない部分は、自らの指示の下で介助者に動いてもらいながら“自分なりの方法で出来る”を実感してもらいます。「障害」がある人たちの、この“自分なりの方法で出来る”を応援してくれる介助者・ボランティアさんを探しています。未経験者でも大丈夫。介助内容は、利用する方の障害状況により変わりますが、主に食事・トイレ・着替え・洗面などの身辺介助、洗濯・掃除・調理などの家事援助、外出の手伝いなどです。あなたも障害がある人と一緒に楽しい時間を過ごしてみませんか…。
- とき／利用する方と相談。(利用期間:2日間～1週間～1ヶ月間 利用する方により異なります)
- 問い合わせ先／津市大門7番15号 津センターパレス3階 津市市民活動センター内 NPO法人ピアサポートみえ 自立生活体験室 Tel.059-213-9577



- 松阪市が主催し、NPO法人が運営する連携事業「ネクストドア」では、様々な講座の受講生を募集中です。
- 【ドア・9】資金不足の皆様へ「あなたらしい活動資金の集め方」講座
- とき／12月6日(土) 15:00～16:30
- ところ／松阪市市民活動センター(松阪市日野町カリオンプラザ3階) ●参加費／1000円
- 内容／市民活動(NPO)と社会をステキに変える資金調達のココロとノウハウを、人気ブログ「ファンドレイジング道場」主宰の講師から「7つのステップ」と「7つの原則」で学びます。県内で初講演!講師は(株)ファンドレックス 代表取締役、鶴尾雅隆さんです。
- 講師プロフィール／91年以降、国際協力機構での勤務のほか、様々な資金調達経験を有し、2008年ファンドレイジング支援の専門会社ファンドレックスを創業。
- 【ドア・10】親子向け「ゲームをしながら防災を学ぼう!」講座
- とき／12月7日(日) 14:00～15:45
- 内容／災害の教訓を子どもたちに伝えるため、NPOと専門家が共同開発したゲームです。ゲームを楽しんだあと、講師から専門知識の解説もあります。
- 【ドア・11】親子向け「金銭教育・おこづかいゲーム」
- とき／12月26日(金) 14:30～16:30
- 内容／おこづかいを上手に使えるようになり、考えて使う習慣が身につきます。お年玉をもらう前が、金銭教育の絶好の機会ですよ。[協力:第三銀行]
- 申込方法／件名を「〇〇講座受講希望」とし、「郵便番号・住所・名前・電話・Fax・E-mail」を事務局まで。
- 申込・問い合わせ先／NPO法人Mブリッジ(ネクストドア担当:米山) Tel.0598-23-8400 Fax.0598-25-

助成金 ニュース

三重ボランティア基金助成

- 受付締切/平成21年1月9日(金)
- 助成の対象となる団体/県内各市町社会福祉協議会に、ボランティアグループとして登録され、福祉の向上を目的とした活動が計画的・継続的に行われ、地域の高齢者や障害者・児童等に対する支援を行っている団体。
- 助成の対象となる活動/福祉活動を目的としたボランティアグループの活動費であり、その活動は先駆的・モデル的な活動(福祉のまちづくり)とします。
- 対象事業の期間/平成21年4月1日～平成22年3月31日
- 助成の額/1団体50万円以内
- 応募方法/助成金交付要望書は、基金事務局またはホームページ、市町社会福祉協議会に設置。
- 問い合わせ先/財団法人 三重ボランティア基金事務局 津市桜橋2丁目131番地 Tel.059-227-9994
ホームページ http://www.miewel.or.jp/vkikin/index.html

高木仁三郎市民科学基金

- 【1 国内の個人・グループへの調査研究助成】
- 受付締切/12月10日(水)当日消印有効
- 助成の対象となる団体/一般の市民や市民グループも対象。
- 助成の対象となる活動/「市民科学」にふさわしい調査研究や、その調査研究と密接に関係するワークショップ・シンポジウムなどの開催費、調査研究の成果発表や政策提言活動等にかかわる諸費用等。
- 助成の額/1件あたり上限100万円。
- 応募方法/ホームページから応募フォームをダウンロード。出力書類を郵送すると同時に、入力済みの応募フォームをE-mailで送信。
- 問い合わせ先/高木仁三郎市民科学基金(事務局:菅波 完)
160-0004 東京都新宿区四谷1-21 戸田ビル4階
Tel.070-5074-5985 Fax.03-3358-7064
E-mail info@takagifund.org
ホームページ http://www.takagifund.org
- ※【2国内の個人への研修奨励(研修・留学などへの助成)】は随時募集中。詳細はお問い合わせを。

ハウジングアンドコミュニティ財団 住まいとコミュニティづくり活動助成

- 受付締切/平成21年1月16日(金) 必着
- 助成の目的・対象期間・助成の額/【一般助成】年度を単位とした活動を支援するもので、1年間(平成21年4月1日～平成22年3月31日)の活動を助成。継続して助成することがありますが、この場合も各年度ごとにあらためて申し込み、選考を受けることとします。1件あたり100万円上限。
- 【特別助成】サービスを提供しその対価を得るなど、いわゆる事業化(事業性の導入)により活動の発展を図ろうとしている団体を支援するもので、原則として2年間(平成21年4月1日～平成23年3月31日)の活動を助成。ただし、年度ごとに継続助成が適当かどうかの評価を当財団で行います。1件あたり各年度100万円上限。
- 助成の対象となる団体/営利を目的としない民間団体(特定非営利活動法人もしくは任意団体)。
- 助成の対象となる活動/住まいとコミュニティづくりに関わる次のような分野についての活動。コミュニティ施設の提案・創造。住環境の保全・向上。地域の防災・防犯。入居者参加の住まいづくり。その他、豊かな居住環境の実現に

つながる活動。
●応募方法/申込書などはホームページからダウンロード。電話での取り寄せも可能。
●問い合わせ先/財団法人ハウジングアンドコミュニティ財団(助成係)
107-0052 東京都港区赤坂1-5-11 新虎/門ビル5階
Tel.03-3586-4869 Fax.03-3586-3823
ホームページ http://www.hc-zaidan.or.jp/

セブンイレブンみどりの基金公募助成

- 受付締切/平成21年1月31日(土)消印有効(両助成とも)
- 【環境市民活動助成】
- 助成の対象となる活動/以下をテーマとした、実践活動、普及啓発活動。
 - 1、自然環境保護・保全活動。
 - (1)森林(2)里地里山(3)その他の自然環境
 - 2、野生動植物の保護・保全。
 - 3、体験型環境学習活動。
 - 4、環境への負荷を軽減する生活をテーマにした活動。
- 助成の対象となる団体/『活動助成』NPO法人または任意の環境市民ボランティア団体。
『NPO法人格取得助成』団体として3年間程度の活動実績があり、「環境の保全を図る活動」の活動分野で、平成22年2月28日までにNPO法人格を取得し、活動を行っている任意の環境市民団体。
『モデル事業助成』『環境の保全を図る活動』が活動分野として認証されているNPO法人またはNPO法人が入り、地域の複数の団体で構成されているプロジェクトチーム。
『自立事業助成』『環境の保全を図る活動』が活動分野として認証され、かつ3年以上の活動実績があるNPO法人。(平成18年2月28日以前にNPO法人格を取得している団体)
- 助成の額/『活動助成』上限特になし。総額1億円。
『NPO法人格取得助成』1団体、上限50万円。
『モデル事業助成』1団体、上限200万円。
『自立事業助成』1団体、上限440万円。
- 【地域美化活動助成】
- 助成の対象となる活動/『緑化植花活動助成』公共の場所やそれに準じる公共性の高い場所で、市民が主体となって企画し、継続して行っている緑や花を植える活動。ただし、学校などの敷地内、時間や入場制限がある場所、自然公園等、自然生態系の保護を優先すべき地区における活動は対象外。
『地域清掃活動助成』公共の場所やそれに準じる公共性の高い場所で、市民が主体となって企画し、継続して行っている清掃活動。
- 助成の対象となる団体/『緑化植花活動助成』継続的に活動し、名簿や年度毎の収支報告などがあり、組織的に活動を行っている市民団体。
『地域清掃活動助成』年間通じて定期的に清掃活動を行っている市民団体。
- 助成の額/『緑化植花活動助成』総額1000万円以内。花の種などの購入費用と活動広告費用。有機肥料(食品残渣を1/3利用した堆肥)現物支給。
『地域清掃活動助成』清掃用具の購入費用と活動広告費。上限20万円。軍手現物支給。
- 応募方法/専用申請書はホームページからダウンロードするか、下記に電話またはFaxで請求。
- 問い合わせ先/セブン・イレブンみどりの基金 102-8455 東京都千代田区二番町8-8 Tel.03-6238-3872 Fax.03-3261-2513 (電話受付時間 9:30～17:00 ※土・日曜日を除く)
ホームページ http://www.7midori.org

助成財団センターは、助成、表彰、奨学などを行う財団法人・その他の法人などの情報を収集し、活動内容を広く社会に発信していくことを主な目的としています。その情報は冊子で刊行されているほか、ホームページやファクシミリサービスでも閲覧できます。(財)助成財団センター Tel.03-3350-1857 Fax.03-3350-1858
ホームページ http://www.jfc.or.jp/

みえぎんNPOローン 好評取扱中

委託金、助成金等の受け取りまでの「つなぎ資金」として
最高500万円まで無担保でご融資!

対象:三重銀行の三重県下営業エリア内に主たる事務所を有するNPO法人
※ただし、当行所定の審査の結果、ご希望に添えないことがあります。

“地域とともに みなさまとともに”

詳しくはTEL059-354-7130(担当 松川)まで
URL: http://www.miebank.co.jp



株式会社等の各種法人設立から許認可手続まで

NPO・社団法人設立手続

事業報告、各種変更届等の作成もお手伝いします。

フリーダイヤル 法 務 よ い よ
0120-406-414

奥島要人行政書士事務所(本町総合事務所LLC内)
三重県津市本町14-18 URL www.e-houmu.info

つながれ!.....NPO支援ネットワーク

みえ市民活動ボランティアセンター TEL059-222-5995/FAX059-222-5971

今日特集 コミュニティビジネスで、まちの産物を売出したい 「みえご縁市場」の取り組み (津市)



<https://ebussan.jp/>

「につぼん e物産市」の 地域エージェントへ

県内各地域には、農林水産資源や地域に息づく技術を活かした数々の産物があります。

経済産業省が実施している「平成20年度につぼん e物産市プロジェクト(地域商社機会の検証)」は、地域の産品の新たな販路の拡大のために、安価な e c サイトの構築・提供と、全国のバイヤー等のビジネス顧客や消費者とを繋ぐコミュニケーションと販売の機会を提供しようとするものです。

津市NPOサポートセンターは、全国30の「地域エージェント」の1つとして事業を受託し、津を中心とする三重県域の特徴ある産物を発掘し、それぞれの

販路開拓の支援を通して、地域に「元気」と「活性化」のきっかけを作ることを目的にと考えています。

「みえご縁市場」とは?

このにつぼん e物産市に取り組むプロジェクトチームとして、「みえご縁市場」を設立して、地域生産者と市場とを継続的に連携させる体制づくりを整備しながら、コミュニティビジネスを立ち上げとサポートしていく体制を作っていきます。



MIE GOEN-ICHIBA
特定非営利活動法人 津市NPOサポートセンター

問い合わせ:(特活)津市NPOサポートセンター

〒514-0027 三重県津市大門7-15 津センターパレス3階

TEL 059-213-7200 FAX 059-213-7201 URL <http://www.ztv.ne.jp/tsusimin/index.htm>

中間支援組織担当者 ネットワーク交流会



11月13日に開催された中間支援組織担当者ネットワーク交流会は11名が参加しました。

今回は、三重銀行のNPOサポートファンドや地域の未来志

援センターの助成金セミナーの紹介、

いなべ市市民活動センターの講座企画、伊賀市の防災と鉄道保存の取り組みについてうかがいました。

『伊賀線応援通信

<http://blog.canpan.info/wafu30037/>」が、CANPAN第3回ブログ大賞2008の地域活性化部門【ふるさと貢献賞】を受賞したとの報告もありました。

関心をお持ちの方は、ご参加をお待ちしています。

次回日程については、「ネットワークのよびかけ」をご覧ください。

※CANPAN ブログは、日本財団が提供する、公益法人、NPO、CSR、社会貢献活動のための無料ブログホスティングサービスです。



「リフレッシュ講座」“小児科の先生と話そう”の様子



地域にここにこ♥子育ておうえん隊 情報(明和町)

(特活)めいわ市民活動サポートセンターでは、これまで防犯パトロール隊「青レンジャー」の立ち上げをはじめ、地域の『あとちょっと・・・』を応援してきました。

今回、ボランティア登録者や登録団体、地域の専門家等とのネットワークを活用して、

明和町家庭教育支援

チームと協働で、「ここにこ♥子育ておうえん隊」事業を始めました。

この事業は、子育て中のお母さんお父さんを対象に、看護師、栄養士、しつけのプロと気軽に話しながら相談できる「おしゃべり広場」(月3~4回)やしはし育児の気忙しいから離れて学べる「ママのリフレッシュ講座」の開催、ブログ「はぐはぐ」による子育てに関する情報の提供などを行うものです。

<http://hagu2mama.blog107.fc2.com/>

個人的な相談の対応から、地域の親同士の交流など、めいわママ(パパ)達の子育てを応援します。



問い合わせ W.T.A まちづくりセンター

〒518-0867 三重県伊賀市上野福居町3317番地
TEL: 0595-24-7612

E-mail: nagi_47_4_3@yahoo.co.jp

URL: http://blog.goo.ne.jp/w_t_a_matisen/

問い合わせ (特活)めいわ市民活動サポートセンター

〒515-0332 三重県多気郡明和町馬之上944-5
TEL: 0596-52-7129 FAX: 0596-52-7739

E-mail: hearvo@ma.mctv.ne.jp

URL: <http://www.ma.mctv.ne.jp/~hearvo/>

▶▶▶▶▶ がんばれネットワーク ▶▶▶▶▶

三重県内の市民活動団体の人をリレーで紹介していきます。但し、紹介するに当たってはルールがあります。1・同じ地域で無いこと。2・同じ活動分野で無いこと。さてどんな人がどんなふうに、つながっているのでしょうか。市民社会研究所の金さんが紹介してくださいましたのは、サポートセンターあいぷろ所長の浜瀬さん。一般企業の営業マンから、福祉の世界に飛び込んだ浜瀬さんが行う作業所運営とは？

福祉ボランティアって、何をするの？

……浜瀬さんは福祉系の学校出身ですか？
それが全く違う学校で、卒業してからの仕事も一般企業で営業職をしていました。福祉ボランティアもしたことがなくて、障がいを持った人はかわいそうで、ボランティアはその人を守ってあげている人というイメージでした。
……最初に障がいを持った人とふれあったのは？
営業の仕事を辞めて、アルバイトをしていた時でした。以前からボランティアをしていた友人に誘われて、自閉症の子に会ったのが最初です。自閉症って文字で見ると閉じ籠もっているような印象でしょう。私もそんな風に思っていたら、実際はすごく元気で、飛び跳ねたりして、びっくりしたところから入りました。その子は障がい重度だったので、ほとんど会話もできなかったのですが、なぜかその独特の雰囲気惹かれていきました。障がいについての興味もわいてきて、その類の本などを讀んだりするようになりました。その後、四日市市社会福祉協議会が運営する知的障がい者の施設に平成19年3月まで勤めました。

……営業と福祉施設では仕事の手応えは？
両方とも人を相手にした仕事ですが、内容が全然違いますから比較するのは難しいです。ただ、「物を売る」ということを中心とした顧客とのやり取りよりも、「利用者さんがどう一生を過ごしていくか」を支援していく今の仕事のほうが自分には向いていると感じます。

……職種の違いに周りも驚いたでしょう。
ボランティアに誘ってくれた友だちも、まさか仕事にするとはいわなかったと思います。それまでボランティアのことも、障がいを持った人を真剣に支援している人がいることもほとんど知りませんでしたから。

……障がいを持った人のことはまだまだ理解されていないのですね。
福祉の仕事内容って、特に福祉以外の仕事をしている人からはわからない部分がたくさんあると思います。私も友だちや知人に仕事の話を話したりするのですが、なかなか伝わらない。障がいというと車椅子というイメージが強いようで、自閉症や知的障がいのことはあまり知られていない。自閉症の場合、知的に軽度ですと高機能障がいやアスペルガー症候群と呼ばれて、一般企業に就職していたり、学

特定非営利活動法人 あいプロジェクト
サポートセンターあいぷろ



所長 浜瀬達也 さんに 聞く

校に通ったりしている人もいます。そういう意味ではすごく身近なことなのですけどね。その事が広く一般的に知られるようになったら、障がいを支援する仕事もやりやすくなると思いますし、職業としていく人も増えていくと思います。

地域にとけこむ作業所運営

……現在のお仕事を教えてください。
NPO法人あいプロジェクトの支援スタッフです。あいプロジェクトは、直接支援を提供する「サポートセンターあいぷろ」と、「ウイズあい」という名の保護者会で構成されていて、私はサポートセンターの業務全般を担当しています。
……サポートセンターの事業内容は？
知的障がいを持った子どもから成人までの地域生活支援です。活動の中心は、成人の方が通う小規模作業所。その他、学童期の障がい児の外出支援や居宅での介護、家庭教師や塾、トランポリンなどを使った療育訓練も行っています。

……設立はいつですか？
外出支援と居宅介護事業は平成18年6月から、サポートセンターの事業自体は平成19年4月に始めました。元々は学校を卒業した後の日中活動の場を作りたいと、保護者や私達のような支援スタッフとで作った団体です。ところが、会員さんのほとんどがまだ成人前の子ども達で…。それで、作業所に入所する前の関係作りとして、子ども達の外出支援を始めました。

……浜瀬さんは前の職場を退職して、すぐにこちらに来たのですか？
あいプロジェクトの代表に声を掛けてもらって、転職しました。代表の「人との関係性で生きていく」という支援の考え方に感銘を受けたというか、共感しました。私たち健常者も、人と人とのコミュニケーションの中で、いろんなものが

培われていきますよね。それは障がい者も同じで、人と関わることで社会で生きていく力をつけていく必要があると思います。あるがままを受け入れていただけでは本当の支援はできない。そんなふうに考えました。他にも、最初に代表から様々な考え方を教わりました。その時は、まだ実感がわかなかったのですが、ずっと現場で活動してきた人だけに言葉に説得力はありました。今、ここで働いて1年半になりますが、その言葉を実感しています。彼らは個性がとても強いし、それぞれにいろいろな行動障がいもあります。でも、つきあっていくうちに、徐々に関係が取れ、この人とだったら落ち着いていられる、頑張れる、という関係作りが出来てきています。彼らの自由を全て受容するのではなく、社会の中で生きていけるよう、こちらの想いや社会の常識なども伝えていけるようになってきました。

……利用者の人数は？
全部で60名ほど。そのうち、作業所に来ているのは5名。人数が揃わないと障害者自立支援法に認められた新体系の施設になれないので、成人の利用者さんを探しています。
……今は無認可の作業所なのですか？
最初は無認可で、補助金ゼロからのスタートでした。利用者さんにも負担の大きい利用料をいただいていたのですが、

それでも全然足りない状態で続けていました。ようやく今年の7月に小規模作業所の認可が下りて、補助金をいただけるようになりました。それでもまだ、障害者自立支援法に則った作業所ではないので、来年度は法化事業にしたいと思って動いています。子どもたちの支援のうち移動支援は四日市市の、居宅介護は三重県の補助を受けています。

「利用者さんがどう一生を過ごしていくか」を支援していく今の仕事のほうが自分には向いている

……サポートセンターの一日を教えてください。

作業所の活動は3時まで。そこから後は子どもの支援に入ります。夕方、学校から帰ってきた子どもと出かけたり訓練したり、逆にここの塾などに来てもらったりします。

……たくさん子どもたちが来るのですか？

スタッフの数もまだ少ないので、受け入れられる人数は決まっています。今は平日で5～6人くらいです。週に1回程度、利用されたり、余暇支援として土日に利用される方もいます。子どもたちの移動支援も補助に時間数限度があつて、多い人で月10時間。少ないと5時間と言う方もいますので、その時間数に合わせて利用してもらっています。

……作業所の事業内容は？

一番収益があがっているのはお菓子づくりです。最初は会員さんの中だけで売っていたのですが、最近、外部販売も増えてきました。イベントの参加や個人的な注文もいただいています。ただ、注文がたくさん来ると作業所だけでは手に負えなくて、保護者会からボランティアを募って手伝ってもらっています。その他、アルミ缶やプリンターのインクカートリッジの回収とリサイクル、畑仕事、ポスティング（チラシなどを各戸のポストに配ること）などを行っています。また、法人イベントとして年2回、地域交流を目的とした行事も行っています。地域住民や協力いただいている方々に集まってもらって、バザーのほか、冬はもちつき、夏は流しそうめんを行っています。

……地域の理解は？

作業所を始める前にご近所などにご挨拶にうかがったのですが、大きな反対もなく、皆さんとても協力的でした。事業が始まってからも、畑で作った野菜を買っていただいたり、作業で使うアルミ缶などを提供いただいています。本当に感謝しています。

……地域の理解がないと活動しづらいですから。

作業所では毎日のようにギャーギャーワーワー言ってますからね。利用者さんはもちろん、それに対応するスタッフの声も大きい（笑）。地域の人にも障がいを理解してもらいたいし、理解してもらうことで利用者さんも地域での生活がやりやすくなります。散歩や買い物で地域を歩くことで、理解してもらいやすくなると思います。そういう意味ではポスティングも効果的。配達地域が作業所周辺ですから、仕事をしている所を見てもらえます。

……それはいいアイデアですね。

今は月1回、1週間かけてフリーペーパーのポスティングをしています。来月くらいからヤマト運輸さんのメール便配達も請け負う予定です。知的障がいの方は家にいることが多いので、太りやすい。配達はいい運動になります。メール



作業所で行っている農作業。

お花見など楽しいレクリエーションも。

便なら毎日、配達に行けますから。

……ヤマト運輸は障がい者雇用に力を入れている？
メール便配達員の中に障がい者雇用の枠があります。三重県内ではすでに1軒、配達している団体があるそうです。それにヤマト運輸さんは一般就労でも、障がい者雇用を進めています。今のところ、うちの利用者は重度障がいの方がかりなので、一般就労する人はいませんが、これから利用者が増えてくるだろうし、なかには一般就労を望む人もいます。そんな時、企業との結びつきは大切ですから、ヤマト運輸さんやフリーペーパーを出版している会社など、企業とも良い関係を作っておきたいです。

……朝から晩まで、お忙しそうですが、スタッフの数は？
正規スタッフは3名。あとはアルバイトやパートさんに来てもらっています。パートさんを含めて、スタッフ確保に苦労しています。特に外出支援はヘルパー2級か介護福祉士の資格が必要ということもあって、なかなか応募がありません。作業所もパートさんは応募があるのですが、福祉を一生の仕事にするという意志を持って、正規職員を目指す方は少ない。外出支援の希望が増えても、スタッフがいないので受けられない状態です。今後、利用者が増えていくのはわかっているので、スタッフの数が上がるかどうかが一番心配。スタッフがいないと事業が成り立たないし、大きくすることもできません。

……人材不足はあいプロジェクトだけの問題でしょうか？
愛知県にある福祉系の大学では7割が一般企業に就職しているそうです。人材が少ない中で、福祉スタッフを育てていかななくてはいけないのです。

……福祉スタッフの場合、単なる仕事ではなく理念を理解してもらわないと…。

確かに支援のあり方を理解してもらわないといけません。それは難しいけど、私も最初から何でもわかっていただけじゃないし、今も全てわかっているわけじゃない。もちろん失敗もします。今、来てくれているパートさんの一人は、障がい者施設のことを何も知らずに応募してきたのですが、「一度来てみたら楽しかった」と、続けてくれています。

……案外、福祉について白紙の人がいいのかも。

私もほとんど白紙でしたから（笑）。

特定非営利活動法人あいプロジェクト
サポートセンターあいぶろ

住所／510-0805 四日市市東阿倉川254
Tel.059-358-0064

浜瀬達也さんはこの人を紹介します。

堀川まり子さん

NPO法人呼夢・フレンズの代表者です。

協賛

この市民活動・ボランティアニュース発行にあたり、協賛をいただいております。

キラリと光るあなたの銀行
第三銀行

三重銀行

百五銀行
FRONTIER BANKING

健全・安心・貢献
東海ろうきん

JAバンク
三重県下JA/JA三重県連

おねがい

市民活動・ボランティアニュースに情報を提供される際、以下のことにご注意ください。

(1) 原稿はニュースにそのまま掲載できる状態にして、毎月10日までにお送りください。

(2) 送付はE-mailもしくはFaxで。その際、「市民活動・ボランティアニュースへの掲載のお願い」と件名を明記してください。Fax.059-222-5971 E-mail seiknpo@pref.mie.jp 転載を希望される場合は必ず男女共同参画・NPO室に連絡してください。

R70 PRINTED WITH SOY INK

古紙70%の紙と環境にやさしい植物性大豆インキを使用しています。